

平成 25 年度学校評価実施計画

学校名 大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校

前年度評価結果の概要
①授業及び指導計画において、高い評価を受けたものの、授業連絡カードの記述量や内容について改善が必要と指摘され、改善に取り組んだ。その利用する価値と作成する負担がアンバランスであるため、さらなる改善に取り組む。
②進路指導に対する評価が低いため、特に小・中学部の保護者が子どもの将来をイメージできるような取り組みが必要である。特にキャリア教育の充実が求められる。
③学校事故および津波などの災害に対する取り組みをさらに進め、安心・安全な学校づくりを進める。
④学校HPの充実などの取り組みは一定の評価をうけている。さらに開かれた学校づくりのため、教育研究における情報発信に力を注ぐ必要がある。
⑤学校における研究と他の学校のニーズとの差があり、地域のセンターとしての役割を十分に果たせていない。

学校教育目標 中期目標 重点目標
1 安全・危機管理意識の重要性・日常性と校舎改修
2 一人一人の教育的ニーズを的確に把握し個別の指導計画をもとに指導実践・評価・振り返りを行い、確かな力をつける
3 職員一人一人が学校課題を意識し、学校組織として課題解決に取り組み、保護者・地域・関係機関・大学と共働・協働する

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

Table with 5 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL. It details specific goals and actions for safety, individualized education, and staff development.